

孝友

人格という土台の上に

真の教養を創造したい者は

この門から入れ

234

令和4年(2022年)|春号

～コロナ禍を越えて未来へ～

この巻頭言をまとめている現在、令和4年1月は正に「コロナ禍第6波」のまっただ中です。令和2年1月の24年ぶり高校サッカー選手権全国優勝の歓喜の中で流行が始まった新型コロナウイルス感染症は、寄せては返す大波のごとく収束平穏期と膨張拡大期を繰り返し、日本全国・世界を席卷しています。修学旅行等の学校行事、部活動、授業にも多大な影響を与え実施形態の見直し・縮小、中止や代替え措置、新たな工夫や改善を余儀なくされました。ただマイナス要素ばかりでは無く新しいオンライン授業やネットを活用しての学校行事の創出等苦しい中で開発された新たな教育活動もスタートしています。

こうした中で、昨年度より当該年度の学校教育活動の集大成とした学校機関誌『孝友』の編集を進め、第234号の発刊となりました。令和3年度1年間の静学の歩みを振り返る、あるいは体感してもらえればと思っています。今号からHPへの掲載も計画し、地域近隣の方々、同窓生の皆様への広報も兼ねることとしました。是非、ご意見や感想をいただければ幸いです。



静岡学園中学校・高等学校
校長 鈴木 啓之

特集

移転10年 10大トピックス

ノーベル物理学賞を
受賞された
名古屋大学教授天野浩氏



全国優勝



開校50周年

コロナ禍を越えて
再びのコロナ禍を迎えて

全国大会3年連続出場
日本代表選手に選出



文部科学省主催
「トビタテ!留学 JAPAN」
プログラムにて留学



開校記念式記念講演講師

平成26年度講師
姜高申氏

同窓会総会

施設の拡充

国公立大学合格者数



目次

在校生及び受験生に向けた校長挨拶	01
移転10年10大トピックス	02-03
中1～中3の1年間の活動記録	04-05
高1年部 高1年の1年間の活動の記録	06
高2年部 高2年修学旅行	07

高3年部 全国の舞台で活躍した3年生	08
合格体験記 進路の実績	09
部活動の実績	10
同窓会より	11
年間学校行事(予定)	12

①第98回全国高校サッカー選手権大会優勝

開校50周年

平成27年度に50周年を迎え、翌28年度には、記念講演師として青色発光ダイオードの開発に貢献し、ノーベル物理学賞を受賞された名古屋大学教授天野浩氏を迎え、記念式典を挙げる。



写真提供 静岡新聞社

②第43回全国高校柔道選手権大会／81kg級／長澤篤希



開校記念式

特集

移転

10大

コロナ禍を越えて 再びのコロナ禍を迎えて



施設の拡充

令和4年度
増築校舎

同窓会 総会

- ①移転と同時に全ての教員にタブレットが貸与される。
- ②全ての教室にプロジェクターを完備。
 - ・教員は、出欠席や成績の管理をタブレットで行うだけでなく、必要に応じて視聴覚教材を開発し、プロジェクターで投影しながら授業を展開することに。また、このような経験が、感染症対策としてリモート授業を実施する際にも、スムーズな移行、対応を可能にした。
- ③令和2年度、人工芝の全面張り替え。
 - ・スプリンクラーを埋め込み、照り返しによる体感温度を軽減させる為、ミストを噴霧することが可能に。
- ④令和3年度、校舎の増築に着工
 - ・2階建ての図書館棟 3階に特別教室を、教育棟の東側に3教室を増設

- ・令和元年度、第98回全国高校サッカー選手権大会での優勝を機に、同窓会活性化の機運が盛り上がり、令和2年4月に、橋本泰志氏が第2代の会長に就任。
- ・同窓会活動の要諦として同窓会名簿の作成に着手し、令和3年8月に発行。
- ・令和3年10月、本校体育館を会場に実施。





大島僚太／2018年ロシアW杯代表選手
旗手怜央／2020東京オリンピック代表
佐藤和哉／2021世界柔道団体

祝

東京2020オリンピック
第50期卒業

旗手 怜央 選手
（川崎フロンターレ所属）

祝

2018 FIFAワールドカップ
第45期卒業

大島僚太 選手
（川崎フロンターレ所属）

ロシア大会
日本代表決定！
（川崎フロンターレ所属）

10年 トピックス

文部科学省主催



「トビタテ！留学JAPAN」 プログラムにて留学

- ①平成30年度／加藤穂乃佳（附静中）／ガーナに留学
- ②令和元年度／池谷彰恩（岡部中）／イギリスに留学



平成26年度講師／菅尚中氏／演題「心」



国公立大学合格者数

令和3年度	第56期	68人
令和2年度	第55期	96人
令和元年度	第54期	80人
平成30年度	第53期	85人
平成29年度	第52期	88人
平成28年度	第51期	67人
平成27年度	第50期	88人
平成26年度	第49期	79人
平成25年度	第48期／教養科学科1期	36人



開校記念式 記念講演講師



後藤さくら撮影

予告

令和4年度は、日本における女性学・フェミニズム研究の草分けであり第一人者の上野千鶴子氏を予定。

中1～中3の1年間の活動の記録

中学1年生の、新聞に掲載された記事

中学1年生は、平和学習の一環として、12月1日・2日と、1年生の生徒が広島県を訪れ、大久野島と平和記念公園でフィールドワーク行いました。また12月18日には、平和学習の締め括りとして、ShizuYouth for Myanmarのキンヤダナソーさんを本校に迎え、ミャンマーで起っていることについてお話しいたしました。新聞に掲載された記事は、それぞれの活動を受けて生徒が綴った感想です。キンヤダナソーさんのお話しの中では途中、サッカー元ミャンマー代表のピエリアンアウン選手にもオンラインでお話を伺い、生徒の質問にも答えいただきました。

12/18
戦争で地図から消された島
静岡市静岡区
中1生 13名
（中1生 13名）
広島平和学習として、大久野島へ行きました。戦時中作られていた島だったので、現在、大久野島は無人島として知られており、多くの観光客が足を運ぶことができません。島は戦争で地図から消された島として知られており、多くの観光客が足を運ぶことができません。島は戦争で地図から消された島として知られており、多くの観光客が足を運ぶことができません。

12/22
核兵器のない平和な世界望む
静岡市静岡区
中1生 13名
（中1生 13名）
核兵器のない平和な世界を望む。核兵器のない平和な世界を望む。核兵器のない平和な世界を望む。核兵器のない平和な世界を望む。核兵器のない平和な世界を望む。

1/8
人生をかけた抗議に支援を
静岡市静岡区
中1生 13名
（中1生 13名）
人生をかけた抗議に支援を。人生をかけた抗議に支援を。人生をかけた抗議に支援を。人生をかけた抗議に支援を。人生をかけた抗議に支援を。



中1・2 ヨーガ体験



中2 球技大会



中1・2 水泳教室



中2 自然体験教室



中1 総合学習



中1 広島平和学習



中1 遠足



リテラシー教育「ネットパターンを知る」



体育祭



中1・2 カルタ大会



イングリッシュキャンプ



中1 SPAC/PAフォーミングアーツ

2日目のフォトオリエンテーションと雪の森のオリエンテーションでは班のみんなと協力することができたし、初めて見る雪にたくさん触れることができ、貴重な体験ができ、よかったです。
3日間、友達といろいろな体験をし、充実した時間を過ごすことができました。



中2 文化祭



中3 文化祭



中3 修学旅行



中2 SGT スタンドグラス



中3 遠足



中3 お茶会



僕たちは、修学旅行で長野に行った。長野の周りには海がないけど、バスでの移動中、たくさん山があったし、湖も見えて、長野の自然の豊かさを感じることができた。県内から県内への移動なのにとっても時間がかり、長野って広いんだなと感じた。僕は、この三日間で特に印象に残ったことが二つある。

一つ目は、初日に行った松代大本営にあった象山の防空壕である。入口の前に韓国語が書かれた石碑があり、何が書いてあるか分からなかったが、とても興味深いなと思った。中は暗くてジメジメしていて、当時そこの生活を強いられていた人がたくさんいたんだと考えると辛かったらうなと思うし、悲しい気持ちにもなった。当時の人たちの、どうすれば被害を最小限にできるかと考える思考が、作業の効率を上げ、よりよい工夫を生んだんだなと思った。

二つ目は、二日目のカーリング体験である、静岡ではなかなかできず、全員が初心者だったので、皆の新鮮な姿が見れて、皆でしゃいで、とても楽しかった。ルールや投げ方の力加減、何のためにブラシを使うのかなどの知識が、やる前まで皆無だったことに加えて、予想以上に滑る氷上で立つことが難しく、序盤はストーンが円を通過してはかりだったり、ただ相手のストーンをぶっ飛ばしてやりたいけど、だんだんコツをつかみ、頭を使って相手のやりたいことを予想したり、チームメンバーと協力したり指示を出したりして、いい試合をすることができ、とても楽しかった。

僕はこの三日間は、長野の魅力を感じる存分味わうことができ、友達と一緒に充実した時を過ごすことができたとてもいい修学旅行になったなと思った。

牛久保 壮真

自然教室を終えて

望月 瑠七

自然体験教室を終えて私はたくさんのお話を学びました。私は雪自体、見るのが初めての体験だったのでとてもいい思い出が作れた3日間でした。また、3日間友達と過ごした中で、たくさんおしゃべりもして、仲間深まり、集団行動の中での協力の大切さも学びました。

一日目のイグルー作りでは、普段あまりしゃべったことがない人も協力してみんなで二つのイグルーを作り、完成できて、とても楽しかったし、達成感がありました。プレゼンテーションも緊張したけれど上手にできてよかったです。

新しい仲間が増えて 11HR 鈴木 愛琉 (静岡学園中)

静岡学園に入学してから4年、気付けば静学生活も残り2年になってしまいました。私たち一貫生にとって、高校生になって感じた一番大きな変化は同級生の仲間が増えたことです。私個人としても、高校入学組には大きな刺激を受け、自分ももっと上を目指して努力しようと感じています。日々の学業を通して、基礎を固めることはもちろん、プラスαの学び、模試にも積極的に取り組むようになりました。それから、昨年度に続き、今年も新型コロナ対応のため、オンライン授業期間がありました。この期間には、改めて自分自身を見つめ直すこともできました。一方、文化祭など多くの学校行事にも取り組むことができました。

結果として、自分自身、大きく成長できた1年だったと思います。来年度も、400人を超える仲間からいい刺激を受けながら、英語検定1級など様々なことにチャレンジして、残り少ない学校生活を充実させ、さらに成長できる1年にしていきたいです。



新たな挑戦 14HR 青野 るい (親山中)

中学までの私は、目標を持つことも、何かに打ち込むこともなく、ただなんとなく過ごしていました。それはそれで楽しくもあったのですが、部活などに打ち込む友人たちを見るたび、物足りなさを感じていました。しかし、静学での生活を通して初めて目標が生まれました。その目標達成のためには、勉強をもっと頑張る必要があると感じています。今まで努力をしてこなかった私にとって、それは、大きな課題でした。それでも、この一年めげずにつき進めたのは、ライバルや、私の好奇心に応えてくださる先生方の存在が大きかったと思います。

私は、この経験から、今の日本にある教育格差の解決には、子供たちの飽くなき好奇心を受け止める環境が必要だと考えるようになりました。そこで、教育格差をなくすことを目標としたボランティア団体「つばめ」を作りました。これからは、勉学とボランティア活動の両立を図っていきたいです。

学校生活で感じたこと 17HR 森下 未央 (清水第六中)

朝の澄んだ空気を切って自転車で登校すると、笑顔で迎えてくれる仲間に出会えます。そこは担任の中村先生をはじめとするとても雰囲気の良いクラスです。こんなにこんなに楽しい学校生活を送れると分かっていたら、同じ中学から通う女子がいなくて悩んでいた「入学前の私」に、心配ないよと教えてあげたいです。

静学では、様々な地域から目標や夢を持って入学してきている生徒が身近に多く、とても良い影響を受けたと感じています。そのため、自分自身、今までよりも明確な目標が必要だと感じ、将来について考える時間が多くなりました。

もうすぐ2年生になります。楽しいだけではやっていけない日々も近づいてきます。日々、時間を疎かにせず過ごしていきたいと思います。



沢山の刺激 112HR 中村 圭佑 (さいたま市立 尾間木中)

私は、この1年間、サッカーを通して様々な経験をし、沢山の刺激をもらいました。同じポジションで、それぞれ違う武器を持った選手と日々切磋琢磨した刺激。先輩方と一緒に練習をして、ブレイクスピードや賢さ、技術の高さに毎日圧倒された刺激。そして何より、U-16 日本代表候補トレーニングキャンプでの経験が私の一番の刺激となりました。このキャンプには、同世代の日本におけるトッププレイヤーが集まります。彼らには、練習の全てにおける細部までのこだわり、食事や部屋での過ごし方などピッチ外での意識の高さも見せつけられました。自分との「実力の差」を痛感したこの経験は、私の1つの分岐点になりました。この1年で受けた沢山の刺激を今後の糧として、次の1年もチームの勝利に貢献できるように、自分をより一層鍛えていきます。



【戦争と平和について】講話（1日目）内容のまとめ

25HR 松井 颯太（藤枝青島中）

つい最近まで原爆を体験した時のことを話せなかった。思い出だけで涙が出てきてしまう。原爆が落とされた当日講師の方は防空壕の付近で遊んでいた。空襲警報もなく原爆が投下された。爆心地との距離はわずか500mほどであった。幸いにも目を覆い目を手で隠ししゃがんでいたため顔に熱傷を負わなかった。家族を探しに歩く人が死んで倒れていた、目が飛び出てそれを抑えている人がいたり、火傷を負って水を欲しがっている人がいたり、家族を見つけても死んでいたり、そして最終的には一人になってしまったそうだ。孤独感を抱えながら必死に生き今に至る。

28HR 望月見佑（静岡長田南中）

情報が何も無い時代で状況を把握する事が困難だった。一瞬にして爆風と熱風で街が焼けて吹き飛んだ。父は足を火傷し、切断しなければならぬ状況だったが、病院（小学校）に行くところまで切断された。2日後に息を引き取り、自分のせいだと思った。母は放射能を浴びて息を引き取った。初めて泣いた。今思えば感覚が狂っていた。何年経って知り合いを通して戦争の話になった事をきっかけに自分の話す責任を感じた。

【戦争と平和について】講話の感想

22HR 竹内星純（静岡学園中）

講和前は戦争のことは昔の物語のように感じていたと思う。実際に経験した人の話を聞いて、現実起こったことだと実感した。経験を泣きながらも話してくださったからには、ひとごとと思わないで次世代に繋げていきたいと思えた。

23HR 清水 瑛伊（静岡学園中）

私は戦争、原爆について広島市の平和記念館や教科書等で学び多少の知識はあった。突然大切な人が消えてしまったこと、とても苦しみながら亡くなっていったことは文字では十分理解していたはずだった。私は火傷などのダメージが可哀想だったなと思っていた。しかし実際はそうではなかった。被爆者の話を聞いて突然友達を失った悲しみ、兄弟を失った孤独感、両親を失ったことによる不安などにより記憶喪失してしまうなど、70年以上たった今でも涙を流さずにはいられないほどの心理的なダメージの大きさを痛感できた。これは文字では決して伝えることができないと思う。被爆者の話を直接聞くことが出来て良かったと思う。

24HR 木伏 梨々香（富士川第二中）

平和を作るのは人間の痛みがわかる心だとおっしゃっていたのが印象的だった。生々しい経験を実際に聞いたことで、悲しさや憎しみや悔しさなど色々な思いがあることを改めて実感した。人と人の争い=戦争を二度としないように、自分がまず平和を作り、次世代にこの戦争を伝えていきたい。

27HR 水野花菜（静岡服織中）

今回の講話を聞いて、私達が今、こんなにも平和に毎日を生きているのは、実際に戦地で戦った人、戦争で亡くなってしまった人、戦争を体験し二度としてはいけないものだと思えて声上げて未来の日本の為に頑張ってきてくれた人、全ての昔の方々ののおかげなのだ、と思いました。

原爆が落とされただけでなく、被爆者への差別があったことは今まで知らなかったのもとても驚きました。また、私が最も印象に残っているのは、田川さんの「父と母はアメリカに殺されたのではなく、戦争に殺されたのだ」という言葉です。私は、今まで日本人としての観点でしか戦争を見ていなくて、規模の違いがあったとしても、両国とも沢山の被害者が出てしまっていたのだから、アメリカを責めるのではなく、これからの未来のために戦争というものへの悲惨さ、残酷さを語り継いでいかなければならないのだな、と改めて実感しました。今回、このような貴重な体験が出来たのは、当たり前ではないと思うので、これからは私たちが平和について深く考え、行動していきたいと思えます。

【原爆資料館・爆心地公園】学んだこと

21HR 望月 優里奈（静岡学園中）

平和記念公園で一番印象的だったのは、平和への願いを象徴する高さ9.7m 重さ30トンの青色の平和祈念像です。空を差している人差し指は原子爆弾を、まっすぐ横に伸ばしている腕は平和を、曲げている脚は原爆が落とされて停止した長崎を、真っ直ぐ降ろしている足は平和に向かって踏み出そうという意志が込められていると聞いて、一つ一つに深い意味があるのだと知りました。そして、噴水が設置してあるのは原爆で体内まで焼けた被爆者が「水を水を」とうめき声を上げながら亡くなっていったからだと聞いて、当時の苦しい状況が伝わってきました。実際に長崎に来て学ばなければここまで深く知ることはできなかったし一生の思い出になると思いました。私も今回学んだことを次の世代に伝えていけるようにします。

26HR 多田 結音（静岡大里中）

1日目で聞いた講話を思い出しながら見学してみて、当時小学生や中学生だった人の日記を読んだりしました。当時の食器、服、お金がそのまま残っていたり、公園の近くで地層も見ることが出来て良かったです。

中でも公園の噴水の石に刻まれていた文字をみて心が痛くなりました。今幸に、平和に暮らしているのは当たり前ではない、と今日改めて感じました。爆心地は、当時の建物などの影で特定されると聞いて驚きました。平和記念像は写真でみるより何倍も大きく感じました。

29HR 古守 凌大（菊陽町立武蔵ヶ丘中）

実際に目で実物などを見ることができ、昨日に続いて悲惨さを感じた。目を背けたくるような物や写真もあった。改めて平和である今の世界は当たり前ではないと感じた。以前一度来たことがあるが、再び行くことができ良かったと思う。この体験をここで終わらせずに次に繋げていきたい。



高3年部

全国の舞台で活躍した3年生

文武両道の SHIZUGAKU。ハイレベルな環境で仲間とともに切磋琢磨し、見事全国大会に出場!!
支えてくださった人々への感謝の思いを胸に、堂々と戦いました。

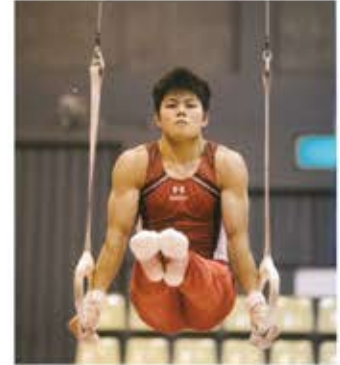
令和3年度 全国高等学校総合体育大会

祝 サッカー部 **SHIZUGAKU**
第3位 *Rhythm Technique Intelligence*

全国高校サッカー選手権大会 **出場**

令和3年度 高等学校総合体育大会 全国大会出場

祝 体操部
個人 数内 那由他



夏の敗北を糧に練習を積み、「打倒、青森山田」を掲げて臨んだ選手権。ベスト8という結果でしたが、その戦いやテクニックは多くの人々を魅了し、大きなインパクトを残しました。

力強さと美しさを追求し続けた6年間。その努力が見事に結実。

令和3年度 高等学校総合体育大会 全国大会出場

祝 柔道部 **男子**
73kg級 村上 大心
81kg級 長澤 篤希
90kg級 木田 敦也

令和3年度 全国高等学校総合体育大会
祝 男子学校対抗の部 第3位
卓球部

令和3年度 高等学校総合体育大会 全国大会出場
祝 卓球部 男子学校対抗の部
男子シングルス 鈴木 望 田中京太郎 葛西啓功 瀧大河 板坂眞生
男子ダブルス 鈴木 望・田中京太郎 葛西啓功・板坂眞生



全国高等学校柔道選手権優勝の長澤篤希くんを筆頭に全国の舞台でも気迫のこもった闘いを繰り広げました。

全国大会常連の卓球部ですが、ついにベスト8の壁を突破し、第3位となりました。しかし、この結果に満足することなく日本一を目指します。卓球部の挑戦はまだ続きます。



祝 吹奏楽部
第23回 日本ジュニア管打楽器コンクール 全国2位 (銀賞)
第33回 中部日本個人重奏コンテスト 静岡県代表 銀賞
打楽器4重奏チーム
鈴木 大貴 久保田 瀬菜
森田 裕乃 浅野 菜々美

第23回 日本ジュニア管打楽器コンクール 全国大会 出場
木管4重奏チーム
荒田 理子 鍋田 真広
劔持 瑞希 勝山 莉名



静岡学園は運動部だけじゃない。文化部もがんばってます。放課後はもちろん、休日にも朝から日が暮れるまで練習しています。技術はもちろん、仲間との息もピッタリです。これまでに、歴史研究部、写真部、囲碁・将棋部、百人一首部なども全国大会出場の実績があります。

合格体験記 —後輩へのメッセージ—

合格

慶應義塾大学文学部人文社会学科
森下直隆 (静岡学園中)

大学受験を通して感じた事は復習は大事であるということです。復習を嫌わずにやれる人は確実に伸びます。また得意科目を作るよりも苦手科目を潰すべきです。実際、私は数学が得意科目でしたが共通テスト、二次試験ともに難化した影響で大してできませんでした。苦手科目がない方が点数もメンタルも安定します。そして概念は理解しようとするよりも、とりあえず受け入れてください。マイナス × マイナスがなぜプラスになるかは置いておいてそういうものだと受け止める感じがです。最後に、後悔のない勉強をすることはなかなか難しいと思います。なぜなら過程の意義は結果に左右されるからです。受ければ努力は肯定され、落ちればいくら努力したところでもっと努力できたはずだと感じてしまいがちです。これはあくまでも極論ですがそれなりの覚悟を持って受験に臨んでほしいです。応援しています。

合格

静岡大学情報学部情報社会学科
山崎雄介 (附属静岡中)

静岡学園での三年間、毎日の朝テスト、中間・期末・静学・学年末等、各々のテスト勉強を地道にしたことが学力向上に繋がりました。受験勉強に役立ったと思います。受験する大学・学部・受験科目等で悩んでいた時、担任の先生の進路指導・助言のおかげで、心が救われて、受験校も決定することができました。

静岡大学受験時、志望理由書記入の際に、担任の先生に丁寧な指導・助言を頂き、書き上げることができました。また、前年度までの面接体験談の情報を基に、二回も面接練習をして頂き、本番の面接時は落ち着いてスムーズに、面接官の質問に答えることができました。

高校一年生の時、サッカー部が第九十八回全国高校サッカー選手権大会で優勝を果たし、選手達が、静岡学園スタイルのサッカーを貫き、諦めずに活躍する姿を見て感動し、希望と勇気をもらい、僕も目標に向かって頑張ろうという志を強く持つことができました。

静岡学園での学校生活の全てが、合格への道につながったのだと思います。静岡学園で学ぶことができたことに、本当に感謝しています。

合格

千葉大学法政経学部法政経学科
伊藤大輝 (清水第七中)

まずは基礎からそして自信へ

私が志望校に合格できたのは、早い段階から基礎を磨いていたからです。基礎とは英語で言うと単語・熟語・文法、国語で言うと語彙・漢字・古文単語などです。必ずやらなければならないことですが、多くの人がやりたがらないので早くから始めると大きな差が生まれます。基礎が疎かな状態で問題演習を行っても思い通りに成績は伸びません。基礎は得点UPに直結するわけではないですが、必要不可欠な要素なので根気よくがんばってください！今から受験勉強を始める方は、やったことを必ず形として残しておくといいと思います。受験期真っ只中になると、焦りや不安が生じます。友達や先生に相談をしてもそれが和らぐことはあっても完全に取り除かれることはないと思います。そんな時、自分を一番ささえてくれるのは、自分が今までしてきた努力の量だと思います。それが自信となり自分を奮い立たせてくれる武器となります。最後まで全力で頑張ってください。

合格

香川大学医学部医学科
木田敦也 (静岡学園中)

高校三年生の夏まで部活を続けていた私は他の医学部受験生よりも圧倒的に勉強のスタートが遅れてしまっていたと思います。しかし部活をやっていたことによる不安はあまりなかったと思います。なぜなら日々の学習では、全てを暗記することではなく、なぜそうなるのかを理解することを重視していたために、基礎力とある程度の応用力がついていると感じていたからだと思います。

また、私は共通テストや二次試験をおえて、部活をやってきてよかったなと思います。なぜなら部活での辛い練習を乗り越えてきたことによりメンタルが強くなり、本番でも自分の実力を十分に発揮できたと思うからです。在校生のみんなにも受験のために早い段階で部活を辞めようとする人も多いと思いますが案外なんとかなりますよ。応援してます！

2022年度入試結果報告(現役生+既卒)

2022年4月7日判明分

国立大医学科2名(浜松医大・香川大)
一橋大 北海道大2名 名古屋大 大阪大2名
静岡大学12名 静岡県立大学4名

早稲田大7名 慶応大4名
立教大10名 明治大11名 など

国公立大学 **68名** 合格

難関私大 **104名** 合格

国公立大学合格68名

北見工大	2
北海道大	2
東北大	1
山形大	1
茨城大	2
筑波大	2
群馬大	1
埼玉大	2
千葉大	2
東京学芸大	1
一橋大	1
横浜国立大	2

富山大	1
山梨大	2
信州大	5
静岡大	12
浜松医大(医)	1
名古屋大	1
名古屋工大	3
大阪大	2
奈良教育大	1
広島大	2
山口大	1
香川大(医)	1
愛媛大	1

福岡教育大	1
宮崎大	1
会津大	1
高崎経大	1
福井県立大	1
山梨県立大	1
都留文科大	1
諏訪東京理大	1
静岡文化芸大	2
静岡県立大	4
奈良県立大	1
周南公立大	1

私立大合格総計	581名
難関14大+医学科	104名
金沢医大(医)	1
関西医大(医)	1
福岡大(医)	1
青山学院大	1
学習院大	3
慶應義塾大	4
上智大	3
中央大	15
東京理大	8
法政大	11
明治大	11

立教大	10
早稲田大	7
同志社大	7
立命館大	12
関西大	3
関西学院大	6
大学校合格	1名
短大合格	5名
専門学校合格	18名
就職	6名
海外留学	2名

部活動実績(令和3年度)

静岡学園では現在、運動部、文化部あわせて32の部が活動中。
それぞれが各種の大会に出場し、全国にその名が知られています。



サッカー一部主将 GK 生嶋健太郎

3年間の集大成として臨んだ第100回全国高校サッカー選手権大会は、ベスト8という結果で終わりました。夏の全国インターハイでの準決勝で、青森山田に大敗を喫してから、全員が意識を変えて、選手権での優勝を目指し取り組んできました。しかし、結果は思うようにいきませんでした。試合を勝ち切ることの難しさを痛感しました。優勝できる自信があっただけに、悔しい気持ちが残りますが、この3年間、最高の仲間と最高の舞台でプレーできたことは一生の宝物です。また、これまでに多くの方々にサポートしていただき、私たちを盛り上げてくださったことに大変感謝しています。来年はこの悔しい思いを知っている後輩たちが、必ず日本一を取ってくれると思います。引き続きご声援の程、よろしくお願い致します。



柔道部 長澤篤希

昨年度コロナ感染症の影響で部活動の停止や、試合ができないという今まで経験のない事態になりました。その中、三月に東京の日本武道館で開催された全国大会で優勝することができました。ずっと全国大会優勝を目標にやってきたので大きな達成感がありました。それ以上に感謝の気持ちを持つことができました。結果を残すことは自分の力だけでなく親、周りの先生方そして仲間の支えがあって初めて達成できることだと感じました。

団体では、県大会優勝を目標に仲間と切磋琢磨してきましたが、実力が足りず三位に終わってしまいました。そこで東海大会に向けてもう一回お互いに課題を出し合い、改善していくことでチーム力を上げることができ、35年ぶりに優勝することができました。一度は悔しい思いをしたが、東海大会で結果を残せたことで静学のチーム力の高さを証明できたと思います。

こういった経験から柔道は個人スポーツですが、色々な人に支えられているんだと、学ぶことができました。



卓球部 鈴木 笙

3年間の1番の思い出

私の3年間の1番の思い出は、夏のインターハイで静岡学園初のベスト4に入ることができたことです。高校1年生から試合に出させていただき、1年生の時のインターハイでは学校対抗で初のベスト8に入ることができました。その時、嬉しい気持ちはあったのですが、本気で全国大会で表彰台に登りたいと思うようになりました。

翌年、チームは「最低でも表彰台」を目標に毎日練習をしてきました。しかし、コロナウイルスの影響により大会そのものが中止になってしまいました。当時の3年生の苦しい姿をみて心を痛めました。

次の年、私はチームの主将として、最後のインターハイに臨むことになりました。

結果は素晴らしい仲間や監督、コーチのおかげで学校対抗で初のベスト4に入ることができました。自分自身も全国大会で表彰台に上がったことがなかったので、今までで1番の思い出になりました。コロナの影響で試合が出来なかった先輩の分も結果を出すことができたので、より一層嬉しかったです。

スポーツの部

【男子バスケットボール部】

総体/県ベスト4
選手権/県ベスト8

【水泳部】

総体/中部
男子4×100mメドレーリレー/9位
4×100mフリーリレー/5位
4×200mフリーリレー/7位
50m自由形5位、100m背泳8位/1年戸塚
県総体に出場

【ハンドボール部】

総体/県ベスト16
新人戦/県ベスト16

【男子テニス部】

新人戦/中部シングルス16位/2年浮谷
新人戦/ダブルス中部22位/1年池谷・1年小野/県大会出場

【女子テニス】

新人戦/中部団体/3位
総体/中部ダブルス/25位3年川口・2年加納

【女子バレーボール部】

中部トレセン選出/2年藤浪

【陸上競技部】

新人戦/男子三段跳/東海5位/2年楠谷
新人戦/女子5000m競歩/東海8位/2年杉山

【卓球部(女子)】

総体/学校対抗の部/県4位
新人戦/学校対抗の部16/県ベスト16

【卓球部】

総体/学校対抗の部/全国3位
全国高校選抜卓球大会東海選考会/学校対抗の部/優勝

【柔道部】

総体/団体戦/東海優勝
令和2年度全国高校柔道選手権大会/81kg級/優勝
/2年長澤篤希

【サッカー部】

選手権/全国ベスト8
選手権/県優勝

【体操部】

全国高校総体出場
東海総体出場

【野球部】

第68回春季東海地区高等学校野球静岡県中部地区大会1回戦
第103回選手権静岡県大会2回戦

【中学サッカー部】

第52回全国中学校サッカー大会/3位
第43回東海中学校サッカー大会/3位

【中学柔道部】

中学校総合体育大会
男子団体/県2位、東海/3位
中学校総合体育大会
男子個人 81kg級/全国2位/2年川合
90kg級 /全国5位/2年石井

文化・芸術の部

【書道部】

岐阜女子大学主催第20回全国書道展 奨励賞1名、優秀賞3名他
第58回全日本書初め大展覧会席書大会 日本武道館賞1名、特選3名

【文芸部】

第47回静岡県高校生文芸コンクール
・小説部門/奨励賞/1年山崎
・随筆部門/奨励賞/1年辻

【吹奏楽部】

全日本吹奏楽コンクール県大会/B編成/銀賞
県アンサンブルコンテスト中部地区大会/金管八重奏/銀賞

【美術部】

県高文祭/美術・工芸部門/中部展 入選
2年工藤、1年中山、1年山崎、1年鍋田

【囲碁将棋部】

第52回選手権/中部B級優勝/3年小川
高文祭囲碁部門/中部個人A級3位/1年植松

令和3年度運動部活動優秀校

中部地区全日制男子部門において、
準優勝校を20点ほど引き離し、142点で優勝。
表彰と優勝旗を授与されました。

同窓会総会を開催して



静学HP > 卒業生へ > 同窓会より
をクリック。「同窓会総会」動画版の
視聴出来ます。



同窓会総会 挨拶

みなさん、こんにちは。同窓会会長の橋本です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、私たちの母校である静岡学園高等学校は、令和3年で創立57周年を迎えます。まずは、この場を借りて、創設者の牧野賢一先生にあらためて敬意と感謝を申し上げたいと思います。また、残念ながらお亡くなりになられた恩師の方や、退職された職員の方にも併せて感謝申し上げます。

最近の静学の活躍は、スポーツにおいては周知の通りだと思います。進学においては、国公立大学および有名私立大学への合格者数を100名近く毎年のように輩出しており、そのような県内私立高校は他にないと思います。このような中で、2019年度に全国制覇したサッカー部の躍進は、皆さんの記憶に新しいことと思います。実はこの機会に、同窓会初代会長の小林洋介様から、お声掛けいただき、当時の役員会等を経て、今の私が会長職に就いております。校舎が聖一色から東鷹匠に移設したことや、全国制覇したサッカー部の活躍等を含め、同窓会をリニューアルして活気づけて欲しい、そんな熱い想いを小林先輩から託されました。本日の総会を迎えるにあたり、開催に至るまでの想いは、諸先輩方から受け継いだ立場の私にとり、大変喜ばしい事と思っています。従いまして、これまで尽力して下さった事務局の杉山実先生をはじめ、現職員のOBOGの皆様にもあらためて感謝いたします。ありがとうございます。

こうした経緯で、同窓会は、ほぼ令和に入ってから活動になりますが、一人でも多くの卒業生の声を聴きたいと思っています。我々役員からも皆さんの声を反映した企画を提案していけたら幸いです。どうか、今後とも同窓会へのご協力をよろしくお願いいたします。特に、本日参加の皆様には、是非とも周りの卒業生同志たちにお声掛けいただき、来年もあるこの総会およびイベントに参加したら楽しいぞ、と言った口コミをお願いしたいと思います。

以上で、簡単ではございますが、私の挨拶にかえさせていただきます。

静岡学園中学・高等学校 同窓会 会長 橋本 泰志 S63年度卒(23期)

同窓会総会 挨拶



本日は、お忙しい中そしてコロナ禍の中、2021年静岡同窓会総会にご参加有り難うございます。

まず初めに、これまでの静岡学園における同窓会活動について、少し説明させていただきます。正直申し上げて、これまでの本校での同窓会活動は「不活発・休眠状態」であったと思います。その原因の主たるところは、学校サイドで同窓会関係の業務を積極的に展開してこなかったところにあります。私は校長に就任して直ぐに、校内の分掌組織を見直し、昨年令和2年度より「総務管理課」という同窓会関係業務を直接担当する部署を創設しました。併せて、令和元年度の高校サッカー選手権でのサッカー部の全国制覇を機に同窓生の方々からも、学校への篤い思いが寄せられる形となり、これが同窓会則の改定、令和に呼応したの会長様ほか役員の改選と新しい同窓会活動への構想・検討や同窓会名簿の編集・発行、そして本日の総会に繋がったものと考えております。

名簿等の挨拶文等でも触れましたが、学校にとって同窓生の方々のバックアップは本当に頼もしいものです。また、同窓会活動は同窓生の皆様にとって、母校「静学」を思い出し、心のよりどころ、心の母港として、ご自分の仕事への意気込みや将来の活動への活力の源となるものだと思います。世代・年齢を超えた同窓生間および在校生との絆「縦の糸」、住まいや活躍するフィールドを超えた同学年同窓生の「横の糸」、教職員の思いも織り込みながら、この縦の糸と横の糸は必ず輝く布を織り上げ、我々の前に美しい姿となって結実するものと思っています。

さて この夏、名簿作成時の調査協力へのお礼の手紙を送らせていただきました。その際、学校の近況報告で「孝友第233号」と改題の学校への支援「募金」についての連絡も同封させていただきました。HPにも同様の告知をアップしましたが、大変有り難いことに10月21日現在で、この募金に「39件、総額62万円」余りの寄付をいただいております。本当に有り難うございます。この場を借りてお礼申し上げます。

ひとつ皆さんに最新の校内ニュースを伝えます。本年度、そして来年度にかけて、本校は校舎の一部改修と増築が入ります。具体的には、まず本年度内に生徒ホール・図書館棟の3階部分を改修して1教室増設します。普通教室の機能も備えた多目的教室です。現在の予定としては来年度、芸術や技術等広いスペースでの展開が有用な授業等に使用するつもりです。

また、来年度に保健室とグラウンドの間に4階建てピロティ形式で2階から4階に教室の計3普通教室を有する校舎1棟を増築予定です。これは、現在の普通空教室0の解消と、余剰教室を生み出すことによってHR生活教室の予備と少人数授業展開での使用教室と、よりバリエーション豊かな教育活動の展開に活用を、と考えています。

快適で魅力ある施設を用意することは在校生そして静学にとって必要なことであり、今後もそのようなように進めていく覚悟です。いろいろなことで経費等物入りな昨今、ぜひ引き続きのご支援をお願いできればと思っております。お知らせいたします。

最後に、本日の同窓会総会、誠にありがとうございます。これを機に、ますます、静学生としての絆の構築、同窓生の皆様の活躍と本学園の発展を祈念して挨拶いたします。

静岡学園中学・高等学校 校長 鈴木 啓之



同窓会副会長を務めております山崎朝彦と申します。この度、令和3年度同窓会総会を開催することができました。ご尽力頂いた関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの影響を受けながらも、こうして同窓会総会が開催できましたことは、これからの同窓会活動にとって大変重要なことであったと思います。歴史と伝統を誇り、数多くの「個性豊かな卒業生」を輩出してきた静岡学園同窓会組織の活性化は、卒業生、学校関係者の皆さま、地域社会の皆さま、そして在校生や未来の生徒たちにとって、様々な可能性をもたらすと考えております。この総会を契機に同窓会活動を活性化させることで、静岡学園の仲間たちが集う場を作っていきたいと思っております。

副会長 山崎 朝彦



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。校長先生をはじめ、関係の職員の方々のご尽力にも改めて敬意を表します。

卒業生の皆さんには友達と呼べる人が何人いますか？プライドも見栄もなく、苦しい時もつらい時も腹を割って話し合える友達、人生の宝となります。何かあったときに本音で語り合える友人をどうか大切にしてください。この先どんなことがあっても、皆さんの年齢が変わっても、学生時代の友達とは一生縁の付き合いができます。

静岡学園同窓会はそのような関係作りを目指しています。どうか積極的に参加して下さいね。

副会長 青木 紀之



この度、同窓会副会長を仰せつかりました平成12年卒の古藤田訓昭と申します。昨年10月23日の令和3年度の同窓会総会を開催できましたことを心から喜ばしく思います。特に卒業生の中山拓海さんのジャズコンサートの華やかな演奏が印象的でした。プレイヤーそれぞれの個性を活かし、即興で音色を奏でていく様子は活躍を続けるサッカー部にも同じものを感じます。複雑且つ答えがひとつとは限らない現代社会では局面を自分で切り開く強い個性や自分への揺るがない自信(自己肯定感)、それを支え助け合う仲間や指導者とのコミュニケーション力や調和が何より重要です。自由闊達で個性が溢れ、困ったときにはお互いにフォローしあえるよう同窓生連を応援できる場所でありたいと思っております。

副会長 古藤田 訓昭

昭和41(1966)年4月に入学式を挙げてから、令和4(2022)年度で56年が経過しています。平成23年には現在の静岡市葵区東鷹匠町へ移転していますが、創立当初から変わらない校是の「服する心・感謝する心・全うする心」を養う孝友三心は、半世紀以上伝統を繋いでいます。

卒業してから30年近く経ちますが、様々なところで同窓生とお会いします。変わらない母校があることで会話が弾み、交流が生まれることもあります。

是非とも、この同窓会を基に、静学生を結ぶネットワークとして役立ててください。

監事 大橋 重之



こんにちは、この度静岡学園同窓会の橋本会長よりお声をかけて頂き、監事を仰せつかりました平成4年度卒業の古川賢吾と申します。大変微力ではありますが、同窓会活動に少しでもお役に立てるように頑張っております。去る10月23日には新しい校舎にて、コロナ禍で多くの方の出席は叶いませんでしたが、令和3年度の同窓会総会を無事終えることが出来ました。ご尽力頂きました先生方職員の皆様には改めて感謝申し上げます。久しぶり母校に来て、聖一色の旧校舎が無くなった寂しさはありましたが、静岡学園の新しい風を感じることが出来ました。また、総会中久しぶりに校歌を聞くことができた当時の思い出が蘇りました。最後になりますが、歴史ある静岡学園同窓会が皆様にとって友情と思い出を繋ぐ場所になれる様活動していければと思います。

監事 古川 賢吾



令和5(2023)年度入試 関連行事 開催予定表

静岡学園の良さを感じるチャンスです。
皆さん、是非参加して、静岡学園を体感して下さい。

個別相談
随時承ります
詳しくはHPから



お問い合わせ、
エントリーは、
HPで。



区分	行事名	開催日程	開始時間	会場	申込開始日		
静岡学園中学校	体験会	第1回一日体験入学	7月30日(土)	9:00、11:20	本校	7月9日(土)～	
		第2回一日体験入学	8月27日(土)	9:00、11:20	本校	8月6日(土)～	
		SGT・文化部体験会	10月15日(土)	9:00	本校	9月24日(土)～	
	相談会(小6対象)	随時受付の個別相談	5月～12月の平日・一部土曜日		本校	5月7日(土)～	
		個別相談会	6月11日(土)	9:00	本校	5月7日(土)～	
		私立中学校フェア	6月25日(土)	10:30、12:15、14:00	グランシップ	詳細未定	
		個別相談会		7月30日(土)	13:00(第1回体験入学終了後)	本校	7月9日(土)～
				8月27日(土)	13:00(第2回体験入学終了後)	本校	8月6日(土)～
				10月5日(水)	17:00	藤枝(藤枝駅前BiViキャン)	9月24日(土)～
				10月6日(木)	17:00	富士(富士市交流プラザ)	9月24日(土)～
	10月15日(土)	9:00(SGT・文化部体験会開催中)	本校	9月24日(土)～			
	11月19日(土)	13:00	本校	10月29日(土)～			
静岡学園高等学校	体験会	第1回一日体験入学	7月30日(土)	9:00、11:20、13:40	本校	7月9日(土)～	
		第2回一日体験入学	8月27日(土)	9:00、11:20、13:40	本校	8月6日(土)～	
		第3回一日体験入学	10月15日(土)	9:00、11:20	本校	9月24日(土)～	
		入試説明会	12月10日(土)	9:00、10:40	本校	11月19日(土)～	
	相談会(中3対象)	随時受付の個別相談	5月～12月の平日・一部土曜日		本校	5月7日(土)～	
		個別相談会		10月5日(水)	17:00	藤枝(藤枝駅前BiViキャン)	9月24日(土)～
				10月6日(木)	17:00	富士(富士市交流プラザ)	9月24日(土)～
				11月19日(土)	13:00	本校	10月29日(土)～
				12月3日(土)	9:00	本校	11月19日(土)～
				12月10日(土)	10:20、12:00(入試説明会終了後)	本校	11月19日(土)～
	12月17日(土)	9:00	本校	11月19日(土)～			

令和4年度の年間行事予定

※年間行事予定は諸事情により変更になる場合がございます。

●中高共通 ●中学 ●高校

- 4月**
 - 始業式・着任式 ●入学式
 - 避難訓練 ●身体計測 ●速足
- 5月**
 - 授業公開週間 ●保護者会(中・高1)
 - 中間試験
 - キャリアガイダンス(高1) ●小論文講座(高2)
 - 校内合同大学説明会(高3) ●開校記念式典
 - 薬学講座(中学)
- 6月**
 - 静学祭 ●面接週間 ●生徒会立会演説会
 - 期末試験 ●水泳教室(中1・2)
- 7月**
 - 球技大会(高3) ●授業公開週間
 - 終業式 ●特別授業
 - 熱中症予防教室(高校) ●薬学講座(高校)
- 8月**
 - 夏休み ●特別授業 ●始業式
 - English Camp(中学) ●静岡大説明会
 - 文芸大説明会 ●静学テスト
- 9月**
 - 生徒総会 ●進路講演会(高1・2)
 - 防災訓練 ●新体力テスト

- 10月**
 - 中間試験 ●授業公開週間 ●体育祭
 - 静岡県立大学見学会(高2)
- 11月**
 - 芸術鑑賞 ●期末試験 ●修学旅行(中3)
 - 修学旅行(高2) ●進路講座(高2)
- 12月**
 - 広島平和学習(中1) ●保護者会
 - 保護者対象進路講演会(高2) ●終業式
 - 特別授業 ●冬休み
- 1月**
 - 始業式 ●かるた大会(中1・2)
 - お茶会(中3) ●自然体験教室(中2)
 - SPAC演劇鑑賞
- 2月**
 - 高3担任による進路講座(高2)
 - 学年末試験
- 3月**
 - 卒業式
 - 球技大会・学年別防災訓練(中学・高1・2)
 - 保護者会 ●終業式・離任式
 - 特別講習

